

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成 2 5 年度）

平成 2 6 年 1 1 月

名古屋市市民経済局

目 次

1 . 観 光 統 計 に つ い て	1
(1) 調 査 の 目 的 と 全 国 観 光 統 計 基 準 の 採 用	1
(2) 入 込 客 数	1
(3) 観 光 消 費 額	4
2 . 調 査 の 集 計 結 果	6
2 - 1 観 光 客 の 現 状	6
(1) 調 査 の 概 要	6
(2) 調 査 結 果	8
2 - 2 宿 泊 客 の 現 状	29
(1) 調 査 の 概 要	29
(2) 調 査 結 果	30
2 - 3 宿 泊 施 設 調 査	49
(1) 調 査 の 概 要	49
(2) 宿 泊 施 設 の 現 状	50
(3) 宿 泊 客 数	52
2 - 4 全 国 か ら 見 た 名 古 屋 の 観 光 に 関 す る 評 価	62
(1) 調 査 の 概 要	62
(2) 名 古 屋 へ の 訪 問 状 況 と 観 光 資 源 の 認 知 度 等	63
(3) 名 古 屋 に 対 す る 評 価	74
(4) 観 光 振 興 に つ い て	86
3 . 資 料 編	92
(1) 主 要 観 光 施 設 へ の 入 込 動 向	92
(2) 名 古 屋 の ま ち の 印 象	96

巻 末 調 査 票

注 1 : 本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、ミッドランドスクエアスカイプロムナードである。

注 2 : 表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 25 年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成 25 年度については、全国観光統計基準に適合する 86 地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 25 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 6,516 万人であり、平成 24 年度と比較して約 1,065 万人増加（対前年度比率 119.5%）した。

行・祭事の入込客延べ人数は減少しているが、平成 25 年 5 月の名古屋城本丸御殿第一期公開開始、アジアゾウ舎がリニューアルした東山動植物園等が好評だったこと、「世界コスプレサミット」、「あいちトリエンナーレ 2013」等イベントの開催による入込客数が増加したことなどが、主な増加の要因と思われる。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801
	産業観光	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033
	イベント	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244
計		(85) 53,655,002	(84) 54,870,760	(86) 54,514,030	(86) 65,161,216

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 25 年度の観光入込客実人数は 3,580 万人であり、平成 24 年度と比較して 86 万人増加（対前年度比率 102.5%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
観光入込客延べ人数（人）	53,655,002	54,870,760	54,514,030	65,161,216
平均訪問観光地点数	1.52	1.65	1.56	1.82
観光入込客実人数（万人）	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人

居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	40.5%	59.5%
観光入込客実人数	3,580 万人	1,450 万人	2,130 万人

宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延べ宿泊客数（人）	5,960,567	6,674,019	6,950,791	7,589,349
宿泊客実人数（人）	4,608,978	5,192,149	5,796,736	6,040,493
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.29	1.29	1.20	1.26

居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	6.9%	93.1%
宿泊客実人数	604 万人	42 万人	562 万人

居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 25 年度の名古屋市内客は 1,450 万人であり、平成 24 年度と比較して 300 万人増加した。また、名古屋市外客は 2,130 万人であり、平成 24 年度と比較して 214 万人減少した。

また、平成 25 年度の宿泊客実人数は 604 万人であり、前年度と比較して 24 万人増加した。平成 25 年度の日帰り客実人数は 2,976 万人であり、前年度と比較して 62 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
観光入込客実人数	計	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人
	名古屋市内客	1,405 万人	1,201 万人	1,150 万人	1,450 万人
	名古屋市外客	2,125 万人	2,125 万人	2,344 万人	2,130 万人
宿泊客実人数	計	461 万人	519 万人	580 万人	604 万人
	名古屋市内客	33 万人	25 万人	48 万人	42 万人
	名古屋市外客	428 万人	494 万人	532 万人	562 万人
日帰り客実人数	計	3,069 万人	2,807 万人	2,914 万人	2,976 万人
	名古屋市内客	1,372 万人	1,176 万人	1,102 万人	1,408 万人
	名古屋市外客	1,697 万人	1,631 万人	1,812 万人	1,568 万人

(3) 観光消費額

観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 25 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,159 億円であり、平成 24 年度と比較して 264 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,608 億円であり、前年度と比較して 104 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較して、名古屋市内は 185 億円増加、名古屋市外は 25 億円減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 24 年度	平成 25 年度
宿泊客実人数		580 万人	604 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,102 万人	1,408 万人
	名古屋市外客	1,812 万人	1,568 万人
宿泊客一人あたり消費額		25,946 円	26,620 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	2,830 円	3,534 円
	名古屋市外客	5,959 円	6,719 円
宿泊客総消費額		1,504 億円	1,608 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	312 億円	497 億円
	名古屋市外客	1,079 億円	1,054 億円
名古屋市内観光総消費額		2,895 億円	3,159 億円

観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

平成 24 年度と比べ、食事費は 31 億円、交通費は 110 億円、土産費は 70 億円、宿泊費は 140 億円、入場料は 17 億円、それぞれ増加し、その他消費額が 104 億円減少している。

総消費額は平成 24 年度と比較して、264 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度
食事費消費額	836 億円	867 億円
交通費消費額	378 億円	488 億円
土産費消費額	518 億円	588 億円
宿泊費消費額	469 億円	609 億円
入場料消費額	330 億円	347 億円
その他消費額	364 億円	260 億円
総消費額	2,895 億円	3,159 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,044 円	1,327 円	2,007 円
交通費	3,090 円	571 円	1,417 円
土産費	4,563 円	463 円	1,577 円
宿泊費	10,078 円		
入場料	1,210 円	725 円	1,096 円
その他	1,635 円	448 円	622 円
合 計	26,620 円	3,534 円	6,719 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	365 億円	187 億円	315 億円	867 億円
交通費総消費額	186 億円	80 億円	222 億円	488 億円
土産費総消費額	276 億円	65 億円	247 億円	588 億円
宿泊費総消費額	609 億円			609 億円
入場料総消費額	73 億円	102 億円	172 億円	347 億円
その他総消費額	99 億円	63 億円	98 億円	260 億円
観光総消費額	1,608 億円	497 億円	1,054 億円	3,159 億円